

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		てらびあぽけっと 市が尾教室						
		公表日 2026年1月20日					利用児童数 2025年11月1日 回収数 44件 (回収率91%)	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	43	2			・個別のスペース ・共有スペースが確保されている。 ・身体を動かす活動（ボール遊びなど）をするには少し狭そうですが、少人数で工夫してスペースを利用していると思います。 ・スペースを工夫されていて色々と配慮されているように感じます。	限られたスペースの中で、整理整頓に努め、有効利用できるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42	3			・一人ひとりに配置されている。 ・個別なので、目が行き届いている印象で安心できます。 ・支援している様子を全体を通して見る方がいたらより良いと感じました。	1対1（先生とお子さま）の個別支援や小集団活動では職員全員でお子様をみて、丁寧にサポートしていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44			1	・目で見て分かるように手順などをボードに貼っている。	お子様の目線に立ち分かりやすくするように努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43	2			・清潔にしている。 ・床がマットになり、子どももより快適に遊べているように思います。 ・たまに暖房が効き過ぎ空気が乾燥しているように感じることがあります。	お子様が過ごしやすいように日々の清掃や換気などを行っていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	2		1	・よく見て支援をしてもらっている。 ・十分かと言われるとはいとは言いきれない。 ・まだ始めたばかりなので分かりません。	職員の知識・技術が高まるように、内部・外部の研修機会を増やしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44			1	・合っている。	支援プログラムを公表していますので、支援内容も合わせて行っています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	2			・話をしっかりと聞いて下さり反映されている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44	1			・具体的な内容で目標設定がされている。 ・具体的で分かりやすい支援内容となっているので安心できます。	引き続き、各項目について分かりやすい支援内容を心掛け、分かりやすく説明をしていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	1			・目標に向けて支援されている。子どもに合った支援を相談をもとに作成して実施頂いています。	適時、モニタリング会議にて計画を確認しながら支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	2		1	・毎回、同じではなく状況に合わせて変えている。 ・親が気になっていることを都度組み込んで下さったり、オーダーメイド制なのは、とても助かります。 ・スマートルステップで成功体験を増やしているのでプログラムが同じものを繰り返すことで効果がでていると思う。 ・就学用プログラムも通常の回にも入れていただき有難いです。	職員間での共有を行っておりますので、継続してお子様が楽しみながら学んで頂けるように行っています。また、小集団での活動も行っております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	4	11	15	・交流の機会がないため。 ・幼稚園に通っているので特に必要を感じていない。 ・特に必要に感じていません。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	44			1	・わかりやすく丁寧な説明があった。	今後も、分かりやすく説明できるように努めています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45				・はい。	今後も丁寧な説明に努めています。

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	5	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・動画視聴をしたり、学ぶ機会がある。 ・親がわからないようなシステムは助かるが、ペアトレを実施してもらったら参加したい。 ・もし今後あるのであれば参加したいと思います。 	引き続き、園やご家庭でのご様子やご相談などが御座いましたら、随時ご提案をさせて頂きます。
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	42	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、相談し情報を共有している。 ・フィードバックの時間が十分あるので、タイムリーに子供の情報が共有しやすい。 ・毎回のフィードバックがとても細かく先生方にきちんと見て頂けているんだなど実感しています。 ・支援後に面談・フィードバックして頂いています。その際に相談も行えています。 ・保育園や家であった出来事に対してもすぐにトレーニングに入れてもらったり、アドバイスして頂いています。 	引き続き、フィードバック・家族支援時にお子様の情報等を共有させていただきます。また、保護者様からご相談ごがあれば、随時日程調整をし、時間を作らせて頂きます。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	2			<ul style="list-style-type: none"> ・こちらの悩みに対してアドバイス等をもらっている。 	引き続き、保護者様の相談こと等について、ご対応させて頂きます。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	1			<ul style="list-style-type: none"> ・親身になって話を聞いて下さり助けられている。 	引き続き、信用・信頼を頂けるように努めています。
保護者への説明等	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	6	16	12	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流はない。 ・父母会などは興味がある人が人によって負担になることもあります。閉ざされた空間にしないことは大事だと思います。 ・同じ小学校に進学する（した）方と情報交換ができると嬉しいです。 ・特に必要としていないので問題ない。 ・父母の会や兄妹同士の交流はほとんどありませんが、このままが良いと思います。 ・似た境遇の親同士、交流をもてる場があるといいなと思いました。子どものセラピーを受けている間などで少しお話がする機会があれば参加してみたいです。 ・特に必要としていない。 ・夏祭りイベントの保護者のお手伝い募集がとても良い機会になりましたので、また機会があれば参加したいです。 	
	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談がある時に、すぐに対応して下さり、その時間を確保して頂いた。 	ご意見・ご要望をいただいた際には詳細内容を確認し、迅速かつ適切に対応させていただいております。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有が密にされている。 	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	38	4		3	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりがある。 ・個別のLINEで写真など頂いています。 	引き続き、LINEなど活用しながら、情報発信に努めています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44	1			<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 ・同じお部屋を利用される子のファイルやBOXに名前が見えていることがある。 	ファイル等につきましては、布をかける等、見えないように対応していきます。
非常時等の対応	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	43	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。 ・それぞれに対してマニュアルがあるが不明です。 	契約時に丁寧に説明していきます。
	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	41	3		1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練がされている。 ・定期的に訓練をしている連絡を頂いてます。 	避難訓練の実施は、LINE等で引き続き、お知らせをしていきます。
	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮し支援されている。 	職員全員にてお子様の安全に努めてまいります。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	3		2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士でぶつかった時にすぐに報告があった。 ・その機会がない。 ・ちょっとぶつからってしまった程度の小さな事故でも、きちんと報告して下さるので、信頼と安心感に繋がっています。 	事故等がないように職員間で徹底しています。万が一発生した場合は、速やかに対応を行います。
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	45				<ul style="list-style-type: none"> ・慣れて安心して通っている。 ・とても楽しそうに通所しています。 ・どの先生のことも大好きなのが伝わります。 	引き続き、お子さま達が安心して通って頂けるように努めています。

満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	42	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回楽しみながら通っている。 ・行き渋りの時もありましたが、少しづつ減ってきてています。一生懸命で疲れてしまうようです。お迎えに行くと楽しそうに過ごしている様子でホッとしています。 ・はい！大好きです。 ・毎回楽しみにしています。「てらびあ」というワードが会話によく出てきます。 	引き続き、お子さま達が楽しく学べる環境づくりと支援内容を工夫し、職員一同で楽しいと思える教室を作りたいと思います。
	29 事業所の支援に満足していますか。	43	2			<ul style="list-style-type: none"> ・こちらに通うことができて本当にありがとうございます。 ・本当に様々なプログラムを用意して頂き、毎回とても楽しみにしています。帰りたくないと思ふと駄々を捏ねるほどに。本人が楽しく通えていることは親にとってとても有難いことです。先生方、ありがとうございます。 ・親子共に安心して楽しく通うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。いつも丁寧に支援していただき有難うございます。 	今度も満足して頂けるように、お子様や保護者様に寄り添う支援に取り組み、お子様のサポートを全力で行なっていきます。引き続き、宜しくお願ひ申し上げます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		てらびあばけっと市が尾教室				公表日	2026年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		怪我がないように十分配慮し、整理整頓をすることで活動スペースを確保しています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		人員の配置数は基準に満たしているが、余剰人員として増やしていく予定	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	室内でのルール等について視覚化したものを掲示し、具体的に分かりやすいように提示しています。	児童が入って良いエリア、職員のエリア分けが不十分なので、マット等を使用し、エリア分けを行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日決まった時間に使用した玩具や机など消毒および清掃をし、整理整頓をしています。	継続していきます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	決められた時間に目標設定+振り返りの時間をつくりっています。	継続して共有していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			ミーティング時はもちろん、個人に対しても徹底して共有をしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		随時面談する体制を整えていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	年に1回、本部SVによる内部監査を受けています。	継続していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	本部研修や外部研修に参加している。	時間の捻出が難しい時がある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムの作成・公表(HP上にアップ)しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		3ヶ月に1度モニタリングを実施し、分析をしたうえで、方向性を一緒に考えています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・カンファレンスの際、意見を出し合い、話し合いを行っている。 ・日々の振り返りで共有している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員間で共有しています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・ガイドラインを遵守しています。 ・外部研修を受けています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		グラフの構成については、管理者や児童発達支援計画を作成する職員が、年齢別にリーダーを決め、全体で共有できるようにしていきます。	時間を設け、全体で共有しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員間で意見を出し合い行っています。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		小集団活動(ゲームや制作など)を取り入れ行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼にて確認をし、共有をしています。		

	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼にて振り返り（情報）をし、共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	日々のデータを記録し、次に繋げています。	時間を設け、全体での話し合いを行い、改善に繋げていきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		その都度、管理者・児発管やリーダーと話し合いながら、担当を決めていきます。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	保護者からの要望がある場合、園訪問を行い、支援に繋げている。	幼保園との連携を強化していきます。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		幼保園との関係機関連携を行っています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者からの要望がある場合、保護者と共有し作成しています。	
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)			必要に応じて行っています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		家族支援を実施しています。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	内部・外部研修に参加し、職員間の質の向上に努めています。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明しています。	
保護者への説明等	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて対応しています。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	8		定期的にお便りを発行し、日々の活動内容のご様子や連絡事項を掲載しています。また、LINEでもお知らせしています。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報等は鍵付きの書庫で保管し、関係者以外が触れられないようにしています。	

	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	定期的に訓練を実施しています。	定期的にミーティング等で、全体に共有しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			定期的にミーティング等で、全体に共有しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		避難訓練の様子を写真でみてもらい、口頭にて伝えています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・社内研修や外部研修を行っています。 ・ミーティングで、研修の内容の振り返り等を行い、全体に共有しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		契約時に説明しています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てらびあばけっと市が尾教室			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49人 (うち姉妹1名)	(回答者数)	44人
○従業者評価実施期間	2025年11月15日 ~ 2025年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月27日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育だけではなく、小集団での活動にも力を入れている。	児童一人ひとりのニーズに合わせて、スマールステップにてお子様のプログラムを作成し、1対1（先生対お子様）での個別・小集団での支援を行っています。また、年長児童は就学に向けた環境も取り入れています。	児童についての情報共有を徹底し、活動内容（プログラム）がマンネリ化しないよう、意見交換を行い工夫をしていく。
2	幼保園等の関係機関へお伺いし、園との連携を図り、支援が強化できるよう努めている。	保護者様のご要望により、幼保園訪問を行っています。幼保園でのお子様のご様子と園の先生との情報交換を行い、プログラムに取り入れています。また、職員間で共有し、お子様の内容を把握しています。	知り得た情報を活かし般化していく。また、ABAを活かした療育を提供し、支援の充実を図る。
3	家族支援を丁寧に行っている。	保護者から家庭や園での様子などをヒヤリングし、その内容を職員間で共有・相談し、支援に繋げられるよう努めている。また、ペアトレや面談も提案している。	内部・外部の研修に参加し、職員全員が知見を深めていき、スキル向上を目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士による交流会等が開催できていない。	個別療育のため、仕組みづくりが困難であり、人員や時間的余裕がない。また、望まない保護者もいる。	実施可能な方法を検討・模索していく。
2	地域交流が出来ていない。	相談支援事業所などの関係機関との連携がない。	幼保園等の関係機関については、保護者のご希望により、その都度対応している。
3			